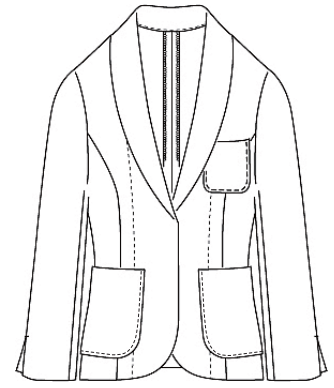


286J へちまカラー ニットジャケット



●工程

- | | |
|----------------------------|--------------|
| ①地直し | ④衿・見返し縫製 |
| ②裁断、芯・伸び止め貼り、
印つけ、ロック始末 | ⑤腰ポケットつけ |
| ③身頃縫製 | ⑥袖縫製 |
| | ⑦まとめ、仕上げアイロン |

①地直し

- ・ご家庭で洗濯するなら水通しを。ドライクリーニングに出す場合は水通し不要。
- ・布の裏側からスチームアイロンをかけ、ゆがんだ生地をできるだけ直す。(水染みにならないよう気をつける)

②裁断、芯貼り、印つけ、ロック始末

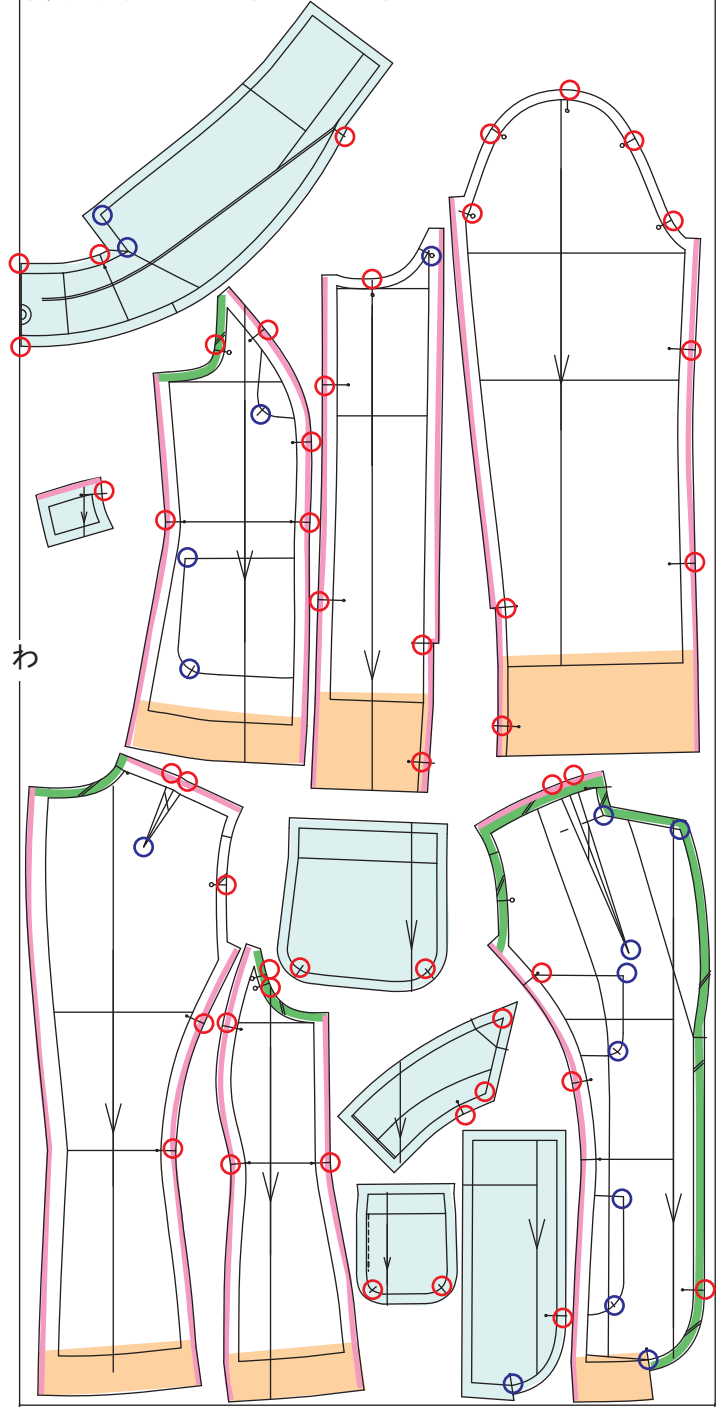
【裁断】

- ・表パーツ (計 12)
 - 1、前身頃 ×2
 - 2、後身頃 ×2
 - 3、前脇身頃 ×2
 - 4、後脇身頃 ×2
 - 5、前見返し下 ×2
 - 6、前見返し肩 ×2
 - 7、上衿 ×1
 - 8、地衿 ×2
 - 9、外袖 ×2
 - 10、内袖 ×2
 - 11、胸ポケット ×1
 - 12、腰ポケット ×2
- ・裏パーツ (計 2)
 1. 胸ポケット裏 ×1
 2. 腰ポケット裏 ×2

【芯・伸び止め、ロック始末】

- | | |
|--|-----------------|
| | = 全面芯 |
| | = 部分芯 (バイアス芯) |
| | = 伸び止め (HB テープ) |
| | = ロック始末 |
| | = ノッチ |
| | = きりびつけ |

〈 表地用尺 140 cm巾 × 145 cm 〉



【印つけ】

○=ノッチ

合印に3mmほど切り込みを入れる

○=きりびつけ

糸印。印位置に正確に刺す。

ほつれやすい素材は、印はすべてきりびつけ

【芯地貼り・伸び止め】

・全面芯

上衿、地衿、前見返し下、前見返し肩、腰ポケット、胸ポケットは、パターンより1cmほど大きく粗裁ちし、芯を貼ってからパターン通り裁断する。

・部分芯

前後身頃、前後脇身頃、外袖、内袖の裾側に記載幅のバイアス芯を貼る。

・伸び止めテープ

袖ぐり、衿ぐり、前端にHBを、前肩にSBを貼る。

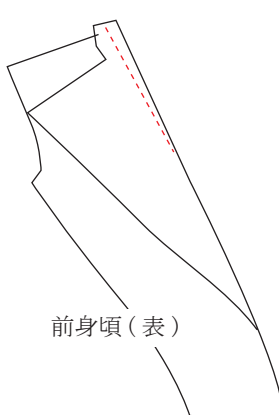
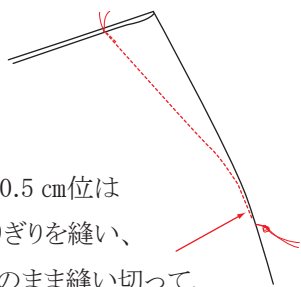
*裏なしなので袖ぐりのHBは表に貼る。

③身頃縫製

【前身頃】

1、肩ダートを縫う。

ダート先0.5cm位は
折り目ぎりぎりを縫い、
最後はそのまま縫い切って、
返し縫いをせず糸端を結ぶ

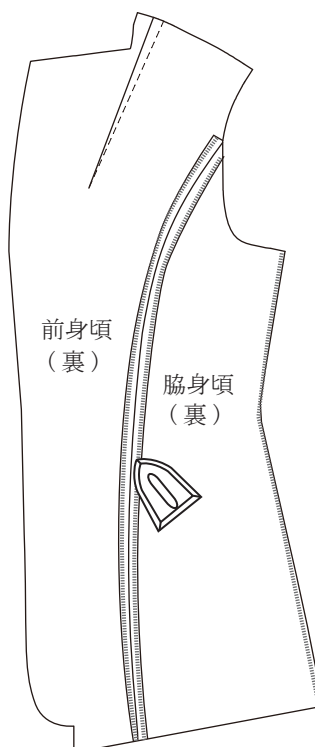


前身頃(表)



前身頃(裏)

2、前身頃と脇身頃を1.5cmで縫い、
縫い代は割る。

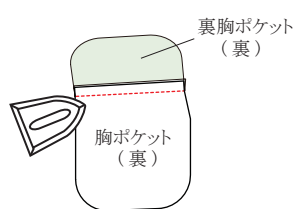


前身頃
(裏)

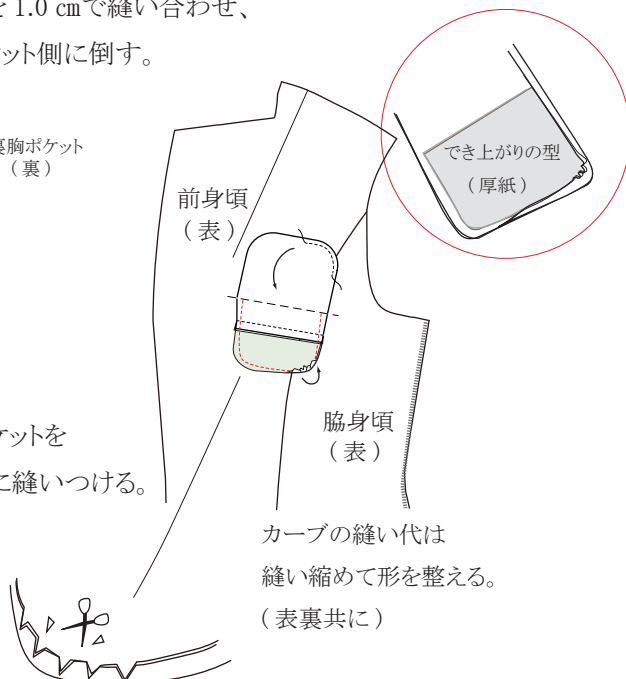
脇身頃
(裏)

【胸ポケット】

- 1、表,裏ポケットを1.0 cmで縫い合わせ、縫い代を裏ポケット側に倒す。

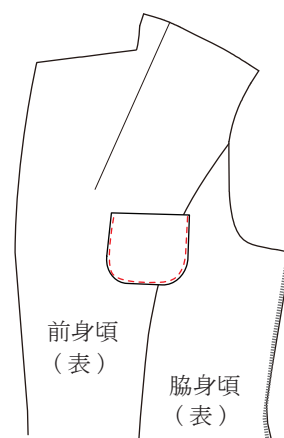


- 2、裏ポケットを身頃に縫いつける。



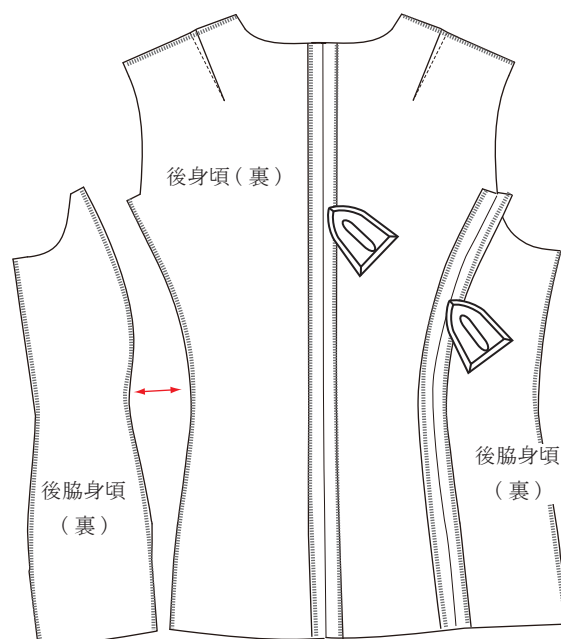
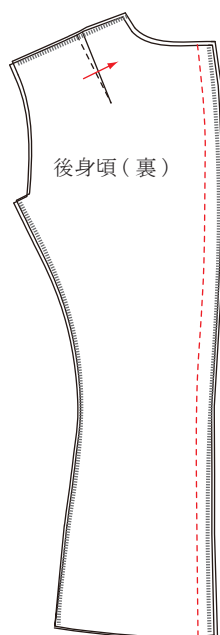
カーブの縫い代がごろつく時は、適宜カットするとよい。

- 3、表ポケットを被せて形を整え、ハンドステッチで縫いつける。



【後身頃】

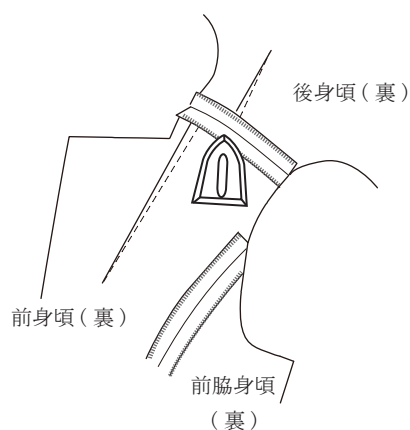
- 1、肩ダーツを縫い、中心側に倒す。
BCを2.0 cmで縫い、縫い代を割る。



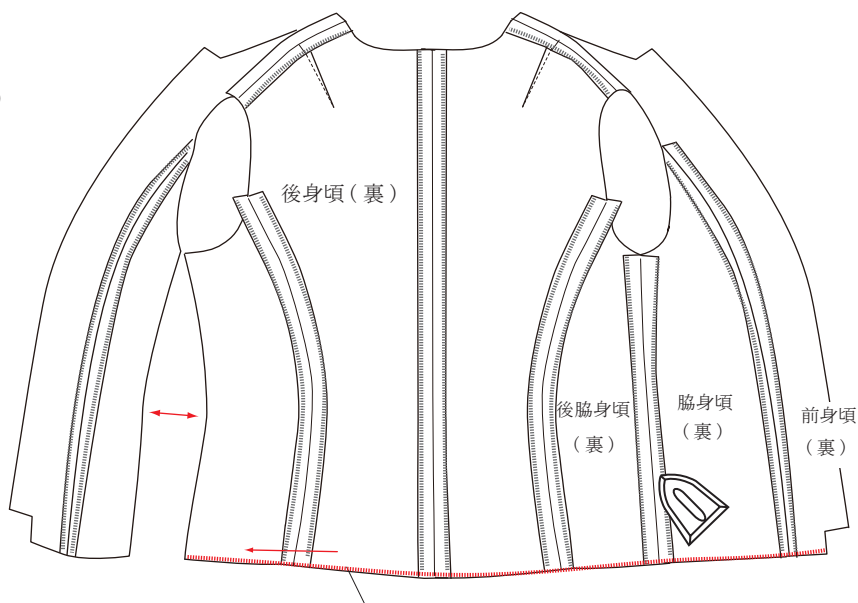
- 2、後身頃と後脇身頃を1.5 cmで縫い、縫い代を割る。

【前後身頃縫い合せ】

1、前後肩を 1.5 cm で縫い、縫い代を割る。



2、前後脇を 1.5 cm で縫い、縫い代を割る。



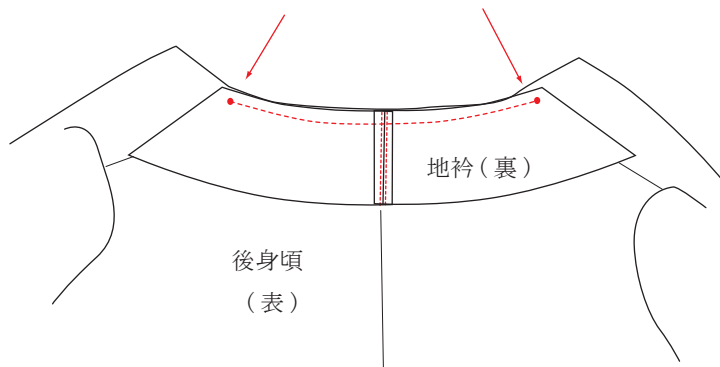
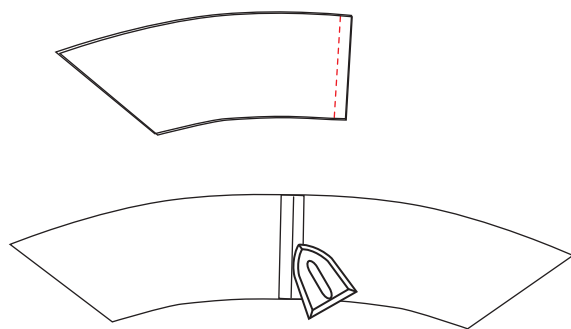
3、身頃が全部つながったら、裾にロックをかけておく

④ 衿・見返し縫製

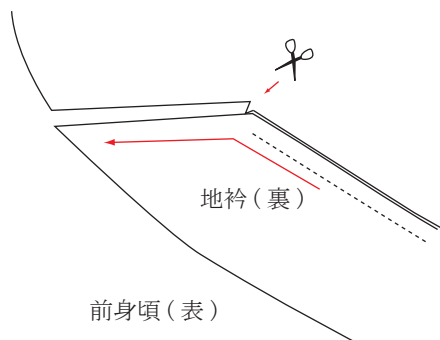
【地衿つけ】

1、地衿を 1 cm の縫い代で縫う。縫い代は割り、縫い目の際にコバステッチ

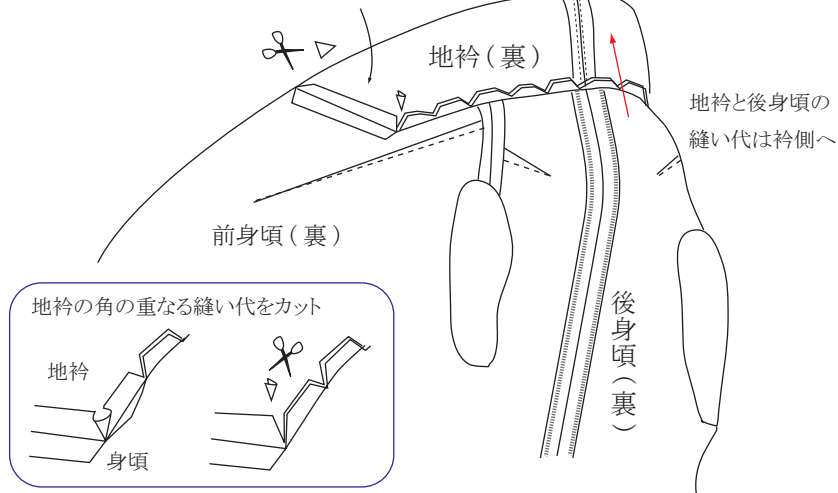
2、後身頃と地衿を 1.0 cm で縫う。必ず印で縫い止める。



3、身頃側の印ぎりぎりまで切り込みを入れ、残りの辺を印まで縫う。



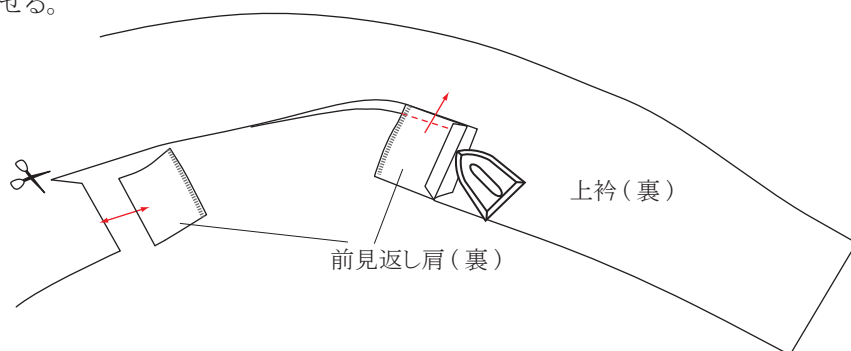
地衿と見返しの縫い代は割り



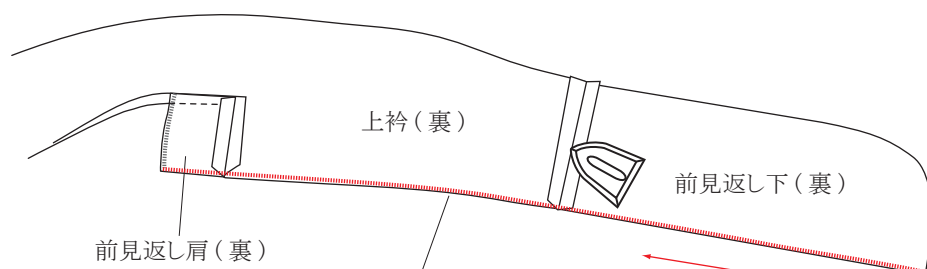
【見返し縫い合せ】

- 1、上衿と前見返し肩をL字型に縫い合わせる。

上衿の凹には切り込みを入れる

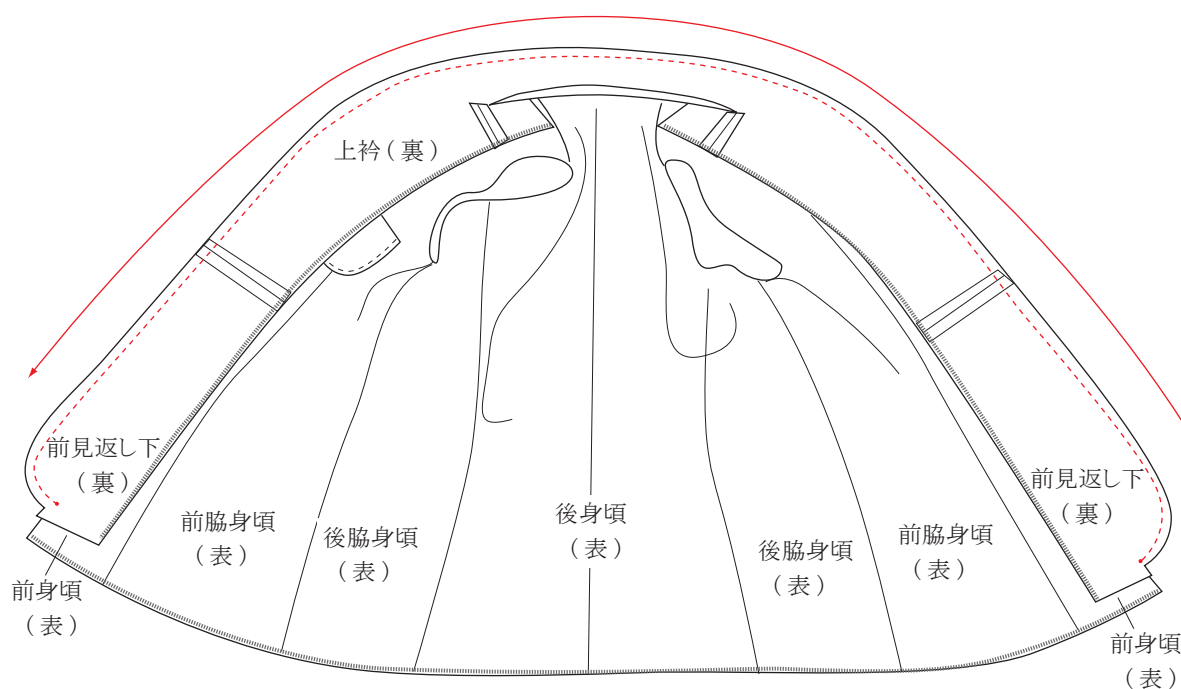


- 2、さらに上衿と前見返し下を1.0cmで縫い合わせ、縫い代を割る。

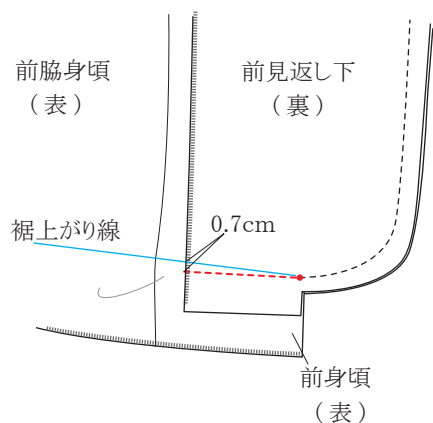


- 3、全部つながったら、端にロックをかける。

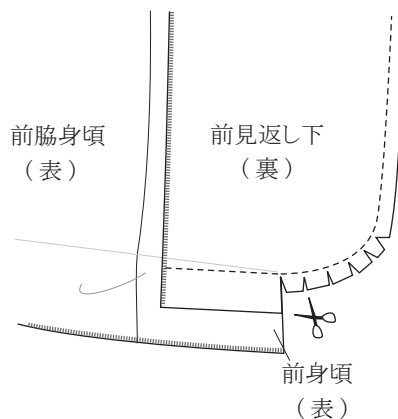
- 3、表身頃と上衿+見返しを中表に合わせて、1.0cmで縫い合わせる。



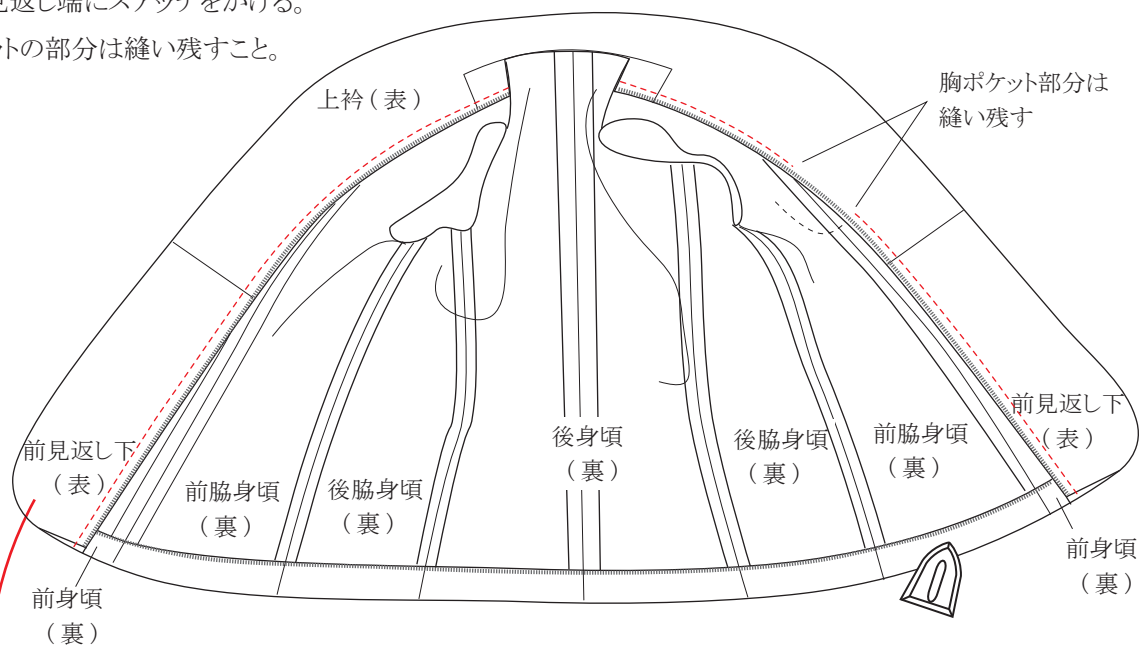
4、見返し裾は、身頃の裾上がり線より縫い代側にずらして縫い合わせる。（見返し裾を表より控えて仕上げるため）



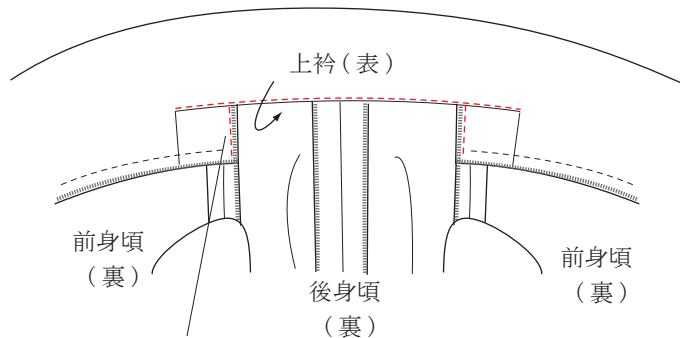
5、縫い代に切り込みを入れて表に返し、裾と見返しをアイロンで整える。



6、裏から見返し端にステッチをかける。
胸ポケットの部分は縫い残すこと。



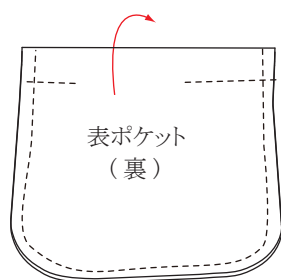
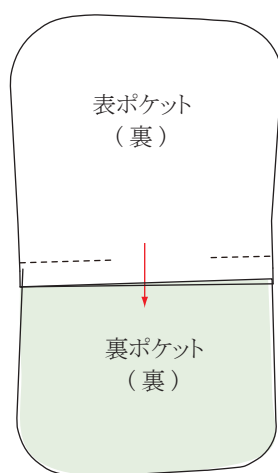
7、衿の縫い代を衿側に折り込み
上衿側からコバステッチをかける。



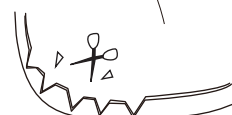
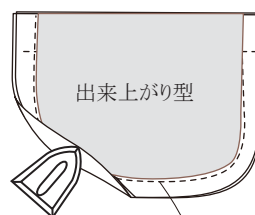
見返しの肩をまず縫い代に
止め付けておくとよい

⑤腰ポケットつけ

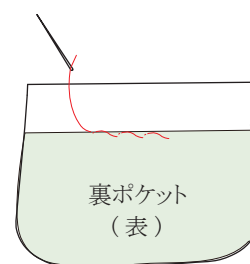
- 1、表、裏ポケット口を1.0 cmで縫い、
裏ポケット側に倒す。
中央に返し口を残しておく。



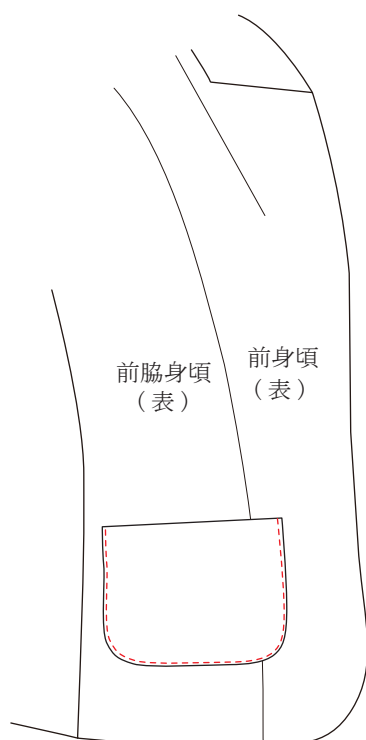
- 2、中表に半分に折り、周囲を1.0 cmで縫う。
アイロンで縫い代を折り、ひっくり返す。
返し口はまつしておく。



カーブの縫い代がごろつく時は、
適宜カットするとよい。



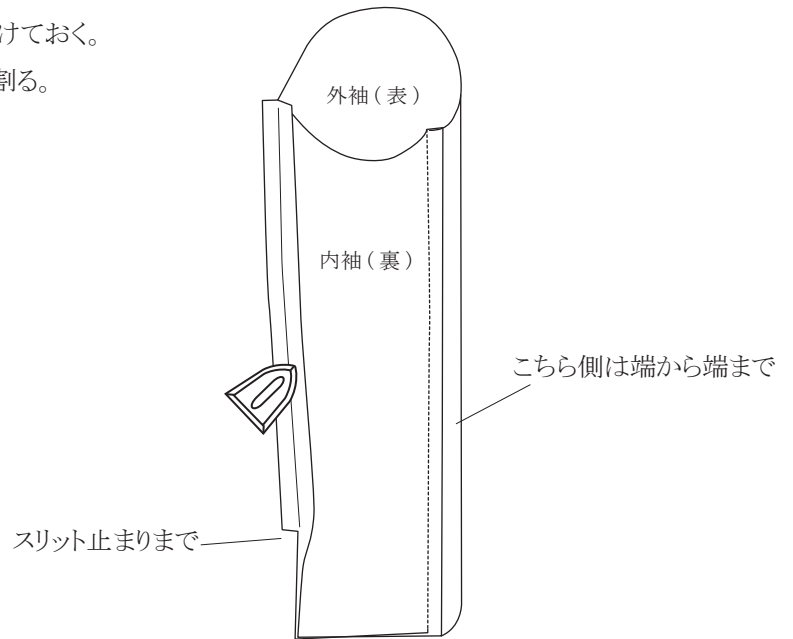
- 3、前身頃指定位置にポケットを縫い付ける。



⑥袖縫製

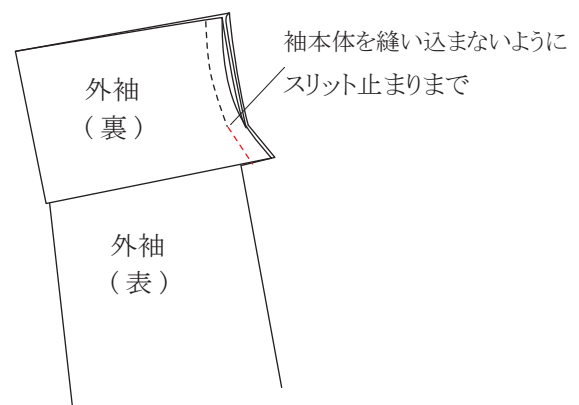
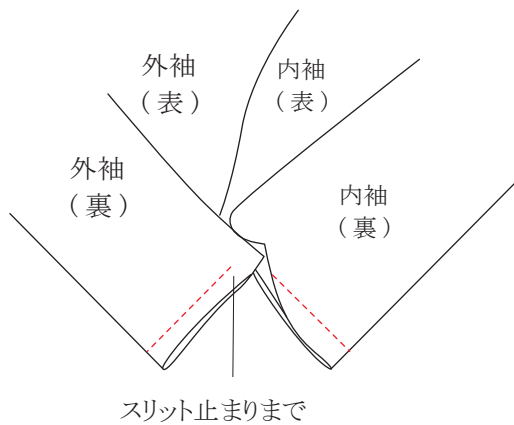
【袖づくり】

- 1、袖口の見返し部分 (9 cm) をアイロンで折り目をつけておく。
- 2、外袖と内袖を 1.5 cm の縫い代で縫い、縫い代は割る。

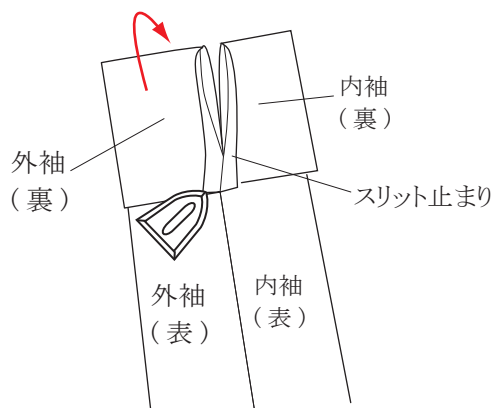


【袖口スリット】

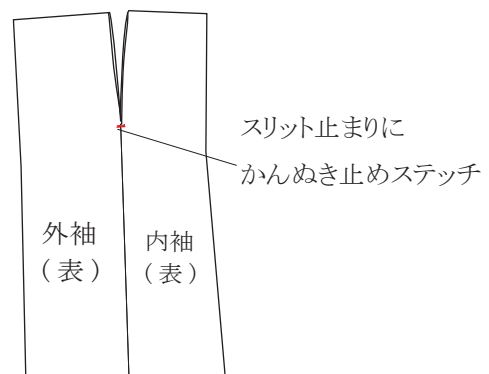
- 1、スリット部分を中縫いする。(縫い代 1 cm)
- 2、たたみ直して端を縫う。(縫い代 1 cm)



- 3、縫い代を整え、表に返す

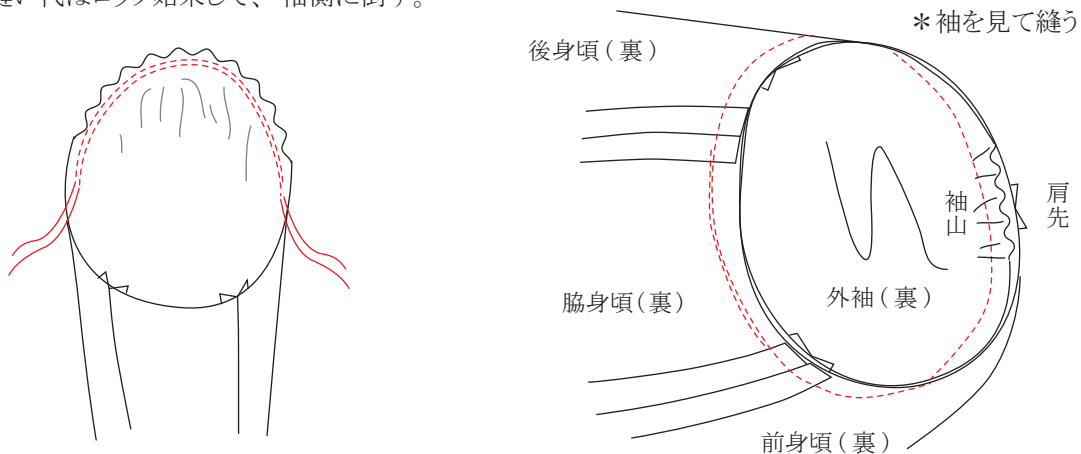


- 4、開き止まりを補強。



【袖つけ】

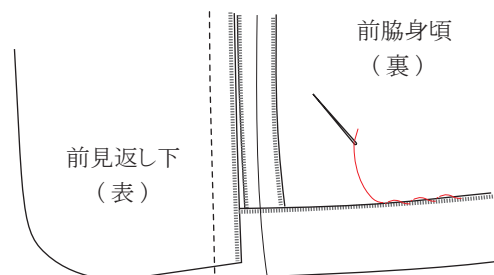
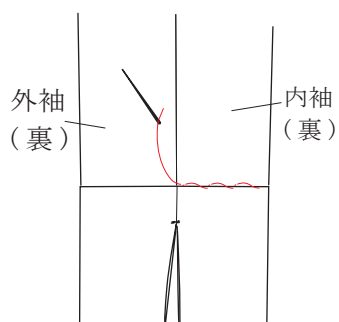
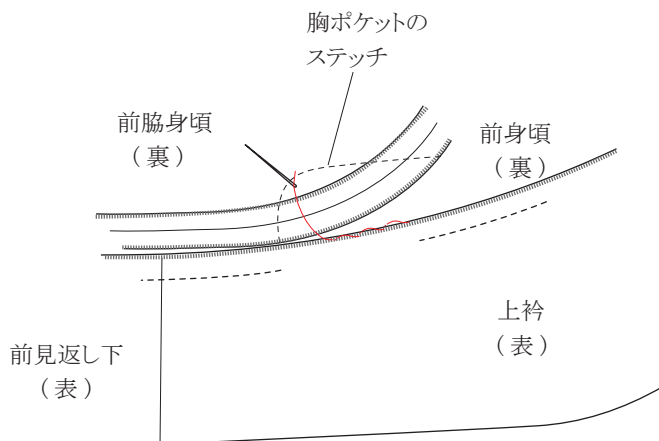
- 1、袖山の縫い代側に、少し粗い針目で2本(4mmと7mm)ミシンをかける。
イセ分があるので袖が余るが、縫ったミシンの糸を引っ張ることで距離を合わせる。
- 2、アイロンでイセを落ち着かせ、袖と身頃の合印を合わせてピンで止める。
- 3、縫うときは袖を見ながら、目打ちでイセをなじませながら縫う。
*袖底は6cmほど縫い重ねる。
- 4、縫い代はロック始末して、袖側に倒す。



⑦まとめ

【まつり縫い】

- 1、見返し端ステッチのかかっていない胸ポケット裏部分、裾、袖口をまつる。



【仕上げアイロン】

1、仕上げアイロンをして完成。

お好みでボタンをつけるなどアレンジしてください。

